

## 鳥取県原子力防災訓練 評価要領

## 1 目的

鳥取県原子力防災訓練に対する評価を適切に行い、練度の把握及び課題等の抽出を行い、それらを防災体制及び防災計画等にフィードバックすることで本県の原子力防災の対処能力を維持・向上させることを目的として本要領を定める。

## 2 評価項目

## (1) 訓練に対する評価項目

## ア 訓練全般に関する評価項目

- (ア) 防災関係機関の機能確認及び協力の円滑化
- (イ) 防災関係機関の組織体制の実効性の確認
- (ウ) 原子力防災に関する個人及び組織の練度の把握
- (エ) 原子力防災に関する意識の高揚及び知識の向上

## イ 重点項目（特徴）に関する評価

今年度の訓練要綱で重点項目として掲げられた項目を評価する。

## ウ 課題に対する対応状況に関する評価

前年度以前の訓練で摘出された課題について、今年度の訓練での改善状況を評価する。

## (2) 課題及び良好事例の摘出

課題及び良好事例を摘出し、今後の訓練への取り組みの方向性を示す。

## 3 評価のための記録内容

## (1) 評価記録の視点

訓練の記録は、次に示す視点に基づき行う。

- ①体制・役割に関する事項
- ②手続き・手順に関する事項
- ③情報伝達・集約に関する事項
- ④機器操作に関する事項
- ⑤アナウンス効果に関する事項
- ⑥練度の維持・向上に関する事項
- ⑦課題事項に関する事項
- ⑧良好事例に関する事項
- ⑨改善を要する事項
- ⑩その他

## (2) 訓練評価記録シート

- ・訓練記録のために訓練評価記録シートを作成する。
- ・訓練評価記録シートは、当該訓練の実施内容及び重点項目に掲げられた項目を基に総合的に判断し、鳥取県危機管理局が作成する。

附則 本要領は、平成25年11月5日から施行する。

附則 本要領は、平成26年10月 日から施行する

平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
本部等運営訓練	1 内部での情報伝達及び体制構築		
	トラブル通報等の受信後、速やかな情報伝達、報告等が行われたか。		
	災害警戒本部、災害対策本部の設置等、事象の進展に応じた適切な体制が構築されたか。		
	庁内関係者への周知(参集メール、庁内放送)が適切なタイミングでなされていたか。		
	現地確認要員の派遣決定等、必要な対策が適切に行われたか。		
	2 情報収集		
	情報はその時の状況に応じて、優先順位を付け適切に収集しているか。		
	両市の対応状況を確認したり、島根県災害対策本部に連絡員を派遣するなどの方法により、関係機関の対応状況を適切に収集していたか。		
	情報は適切に整理されていたか。		
	3 災害対策本部運営		
	対策本部の業務に優先順位と期限をつけ、その状況に応じて適切に処理していたか。		
	対策本部の業務は、事務局の要員に徹底されていたか。		
	◎現在の状況を継続的に把握しているか。		
	◎対策本部内の報告、状況判断の時期、内容は適切であるか。(適時性)		
	事務状況の推移を判断し、所掌業務について目標を設定し、状況に先行して諸準備を進めていたか。(先行性)		
	対策本部内、関係機関等との間において、対策主体の活動を可能な限り並行していたか。(並行性)		
	本部長の企画(意図)を十分に具現できるよう活動していたか。(完全性)		
	◎本部長を適切に補佐することができていたか。(思考環境の整備、企画(意図)の理解、意見の提出、情報の精度等)		
	他機関(国、OFC、島根県、米子市、境港市)の対応状況等必要な情報が適切に報告・通報されていたか。		
	各部局からの対応状況、今後の計画等報告が適切に行われていたか。		
	プラント状況等の専門的知識を有する事項等について、適切な状況報告がなされていたか。		
	防護措置の実施のための指標等が適切に報告されていたか。		
	・気象情報(天候、風向、風速) ・モニタリング情報 ・道路情報 等		
	クログロを作成するなど、必要な情報がわかりやすく整理、記載されていたか。		
	対策本部に必要な情報は、本部内に掲示するとともに最新の情報に更新されていたか。		
	各記録、報告等が適切に管理、保管されていたか。		
	◎本部内の各セクションにおいて、他機関と相互連携を図り、適切に統制・調整が行われていたか。		
	◎対策本部で決定された事項の、実行状況について適切に確認されているか。		
◎対策本部の文書業務は適切であるか(法令等の様式に適合しているか)。			
◎本部会議の開催は適切であるか。(会議の目的、会議以外の方法で目的が達成できないか、時期、時間、場所、資料、参集者等)。			

平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
4 関係機関への情報伝達	トラブル通報等の情報が、適切に関係機関に連絡されていたか。 鳥取県災害対策本部の設置、本部会議の開催等、関係機関に対して必要な情報が連絡されていたか。		
5 連絡員の派遣要請及び受け入れ	自衛隊、中国電力等の関係先への連絡員の派遣要請を行うとともに受け入れを円滑に行っていたか。		
6 報道対応(プレスリリース)	対策本部の設置及び対策本部会議の結果等、必要な情報をプレスリリースしていたか。 必要に応じて、報道要請を行うなど、適切に対応していたか。 ★広報の内容は、住民にとってわかりやすいものであったか。 ◎要配慮者(外国人)への広報等が適切になされていたか。		
7 操作機器の運用等	本部会議の開催に必要なシステム等の立ち上げが円滑に行われていたか。 原子力防災ネットワーク、防災業線無線、NTT回線の利用等、円滑に機器操作が行われていたか。		
8 鳥取県現地災害対策本部、島根オフサイトセンター鳥取県ブース、鳥取県モニタリング本部との連携	鳥取県の関係各所との情報伝達は確実に行われたか。 適切な情報共有が図られていたか。		
自由記載			

平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
OFC訓練	1 初動、体制		
	参集要員の派遣依頼があった派遣元では、適切な対応(要員の確認及び決定)がなされたか。		
	派遣者の連絡先、到着予定時間等、派遣にあたり必要な事項が事前に確認されていたか。		
	参集要員としての登録者は、参集要請に基づき速やかに対応していたか。		
	それぞれの業務に精通するとともに適切に対応できていたか。		
	◎OFCへの入館にあたり、スクリーニング等の措置を適切に行っていたか。		
	2 鳥取県ブース		
	鳥取県ブースの立ち上げは、円滑に行われたか。		
	原子力事故現地対策本部の設置等、OFC内の状況を速やかに県災害対策本部に連絡していたか。		
	鳥取県の関係各所(県災害対策本部)との情報伝達は確実に行われたか。		
鳥取県、米子市、境港市の連絡員の間で、必要な情報が共有されていたか。			
原子力防災ネットワークのテレビ会議システム使用等にあたり、OFCの機器操作側と必要な打ち合わせ(使用時間、使用場所の確認等)を行っていたか。			
各記録、報告等が適切に管理、保管されていたか。			
自由記載			

平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
緊急時モニタリング訓練	1 初動、体制		
	警戒事態の発生後、速やかに鳥取県モニタリング本部の設置がなされたか。		
	鳥取県モニタリング本部は、チーム(企画評価チーム、情報収集チーム等)の役割に応じた活動が円滑になされて事象の進展に伴い追加要員を確保するなど緊急時モニタリング計画に基づいた体制がとられていたか		
	衛生環境研究所と西部総合事務所生活環境局との情報共有が適切に行われていたか。		
	緊急時モニタリング計画は、適切に作成されていたか。		
	2 平常時モニタリングの強化		
	空間放射線量率の監視強化などの対応が取られていたか。		
	◎可搬型モニタリングポストの追加配備、データ送信が本部の指示後、速やかに実施されていたか。		
	空間放射線量率の測定は、適切に行われていたか。		
	3 緊急時モニタリング		
	防護措置に関する判断に必要な項目のモニタリングが優先して行われていたか。 ・UPZを中心とした空間放射線量率 ・大気中の放射性物質濃度の測定 ・環境試料中の放射性物質濃度の測定		
	事態の進展に応じて、適切な対応がとられていたか。		
	環境試料の採取は、適切に行われていたか。		
	環境試料の放射線測定は、適切に行われていたか。		
	モニタリング要員の防護対策は、適切に行われていたか。		
	◎モニタリング要員の被ばく管理は、適切に行われていたか。		
	サーベイ車、モニタリング車によるモニタリングは適切に行われていたか。(必要な記録を含む)		
	走行サーベイは、適切に行われていたか。(必要な記録を含む)		
	◎モニタリング要員に対し、測定地点情報、資料等の情報提供は行われていたか。		
	モニタリング結果は、鳥取県モニタリング本部内で適切に報告されていたか。		
	4 情報収集		
	鳥取県災害(警戒)対策本部との連絡調整が適切に行われていたか。		
	国EMCとの連絡調整、情報共有が適切に行われていたか。		
	◎国EMC設置前は島根県モニタリング本部との情報共有が適切に行われていたか。		
	放出源情報、気象情報等の必要な情報を入手していたか。		
	鳥取県モニタリング本部内の情報(各種測定結果、分析結果等)が一元的に管理されていたか。 各記録、報告等が適切に管理、保管されていたか。		

平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
5 車両、資機材の管理	モニタリングに必要な車両(運搬用の公用車も含む)及び資機材等は、適切に管理されているか。(速やかに使用可能な状態であるか) ◎サーベイメーター等は、適切に汚染防止対策がされていたか。		
自由記載			

平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員 \_\_\_\_\_

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
県営 広域 避難所 開設 訓練	1 避難所の開設準備等		
	広域避難所運営チームは、速やかに設置されたか。		
	施設敷地緊急事態の通報に基づき、避難所の開設が想定される市町村に対して必要な連絡が行われたか。		
	県営避難所開設のための人員配置は適切であったか。		
	2 居住スペース		
	1人あたりの居住スペースは、適切であったか。 (本県の計画 2㎡以上/人、国際基準3.5㎡/人)		
	プライバシー保護のため隣接者と間仕切り等を設置しているか。		
	3 避難所の区割り		
	車いす利用者の通行が可能な通路幅(1m以上)が確保されているか。		
	妊産婦、高齢者等の災害時要援護者に配慮したレイアウト配置となっているか。(妊産婦や高齢者には、出入りしやすい場所やトイレが近い場所を提供する等)		
	女子更衣室、授乳室が計画されているか。		
	物干し場を男女別とするなど女性の避難者に配慮したレイアウトとなっていたか。		
	4 仮設トイレ		
	仮設トイレの設置にあたり男女比を考慮するなどの対応が行われていたか(男女比は1:3が国際基準)		
	設置場所を男女別々とするなど女性に配慮した計画となっているか。		
	5 避難者受付		
	避難者の受付所等が適切に設置されていたか。		
	6 避難所開設に必要な資機材		
	避難所の開設に必要な資機材等は、適切に管理されていたか。		
	避難所の資機材(数量、種類等)は適切であったか。		
手配等が必要な資機材については、速やかに発注を行うなど適切な対応が行われていたか。			
自由記載			

平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
住民避難訓練	1 住民避難広報		
	避難開始に関する広報文の内容は適切であったか。(確実な対応行動を促す内容、誤解のない簡潔な表現となっていたか等。)		
	★住民に対する広報手段(防災行政無線、広報車等)は、適当であったか(住民に対して確実に伝わっていたか。)		
	2 一時集結所		
	一時集結所への避難誘導は、適切に行われていたか。		
	★一時集結所への集結後も、屋内退避を行うなどの防護措置が適切に行われていたか。		
	バスへの乗車がスムーズに行われていたか。在宅の要支援者等に対する配慮がなされていたか。		
	3 安定ヨウ素剤の服用		
	安定ヨウ素剤保管庫の管理及び解錠の手続きが適切に定められているか。また、その手続きに課題等がなかったか。		
	安定ヨウ素剤の服用目的、防護効果、副作用等が適切にわかりやすく説明されていたか。		
	安定ヨウ素剤の配付、服用に関する誘導が適切に行われていたか。		
	安定ヨウ素剤の服用後の経過観察が適切に行われていたか。		
	副作用が発生した場合の対応等が、明確に規定されているか。		
	4 列車での避難		
	★駅への終結後も、可能な限り屋内退避を行うなどの防護措置が適切に行われていたか。		
列車への乗車にあたり、高齢者等の要支援者(車いす)等への配慮がなされていたか。			
列車の運行に関してJR西日本との連携が適切に行われていたか。			
列車への乗車及び降車に関して、避難者誘導が適切に行われていたか。			
5 船舶での避難			
乗船前後も、可能な限り屋内退避を行うなどの防護措置が適切に行われていたか。			
船舶への乗船にあたっては、高齢者、要支援者の乗船に配慮がなされていたか。			
船舶への乗船及び降車に関して、避難者誘導が適切に行われていたか。			
自由記載			



平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
避難行動要支援者の避難訓練	1 在宅の避難行動要支援者		
	★在宅の要援護者に対する広報が確実に行われていたか。(防災行政無線で伝わっていたか。)		
	避難行動要支援者名簿が整備されており、それに基づいた対応(要配慮事項、支援者の確保)がなされていたか。		
	車いすによる一時集結所まで避難は、安全面、容態の確保の観点から適切であったか。		
	一時集結所へ集結後も、屋内退避を行うなどの防護措置が適切に行われていたか。		
	自衛隊車両、福祉車両による搬送は速やかに行われていたか。		
	2 病院の入院患者		
	病院関係者に対する広報及び入院患者への説明が確実に行われていたか。		
	救急車による搬送は、患者の安全面、容態の確保の観点から適切であったか。		
	C-1型輸送機による搬送は、患者の安全面、容態の確保の観点から適切であったか。		
	C-1型輸送機から救急車への搬送は、患者の安全面、容態の確保の観点から適切であったか。		
	◎搬送対象者に関する情報伝達が円滑に行われ、共有されていたか。		
	避難の実施にあたって、適切な防護措置等が行われていたか。		
	3 社会福祉施設、障がい者施設の入所者等		
	施設関係者に対する広報及び入所者等への説明が確実に行われていたか。		
	入所者等の家族への連絡が確実に行われていたか。		
	自衛隊車両又は福祉車両による搬送は、患者の安全面、容態の確保の観点から適切であったか。		
	ヘリコプターによる搬送は、患者の安全面、容態の確保の観点から適切であったか。		
	避難の実施にあたって、適切な防護措置等が行われていたか。		
	4 外国人		
外国人に対する広報手段が確保されていたか。			
災害経験が少ない外国人等に対して、避難の必要性等を適切に説明していたか。			
★一時集結所へ集結後も、屋内退避を行うなどの防護措置が適切に行われていたか。			
外国人の居住状況(人数、場所、言語等)が適切に把握されているか。			
5 聴覚障がい者			
災害時避難行動要支援者(聴覚障がい者等)に対する広報手段が確保されていたか。			
一時集結所まで避難は、安全面の確保の観点から適切であったか。			
★一時集結所へ集結後も、屋内退避を行うなどの防護措置が適切に行われていたか。			
コミュニケーションボードを準備するなどの対策が講じられていたか。			
自由記載			

平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
緊急被ばく医療活動訓練	1 スクリーニング訓練		
	避難住民の案内、受付及びスクリーニング検査の説明は適切であったか。		
	聴覚障がい者に対する説明及び対応は、適切に行われていたか。		
	外国人に対する説明及び対応は、適切に行われていたか。		
	検査機器、会場、備品等の汚染防護が適切に行われていたか。		
	★会場内にスクリーニング手順(検査の流れ、優先的に除染する者等)が明示されていたか。		
	GMサーベイメータによる測定は、計測漏れがないよう確実に行われていたか。		
	スクリーニングレベル未満の場合、住民に対して汚染のおそれはないことを説明していたか。		
	★1人あたりの所要時間(2分を想定)は適切であったか。		
	2 安定ヨウ素剤予防投与訓練(再掲)		
	安定ヨウ素剤保管庫の管理及び解錠の手続きが適切に定められているか。また、その手続きに課題等がなかったか。		
	安定ヨウ素剤の服用目的、防護効果、副作用等が適切にわかりやすく説明されていたか。		
	安定ヨウ素剤の配付、服用に関する誘導が適切に行われていたか。		
	安定ヨウ素剤の服用後の経過観察が適切に行われていたか。		
	副作用が発生した場合の対応等が、明確に規定されているか。		
	3 初期被ばく医療訓練		
	◎搬送対象者に関する情報伝達が円滑に行われ、共有されていたか。		
	救急搬送の際、傷病者が被ばくしている可能性を考慮し、従事者の防護措置が適切に行われていたか。		
	ストレッチャーに防水滅菌シートを敷くなどの対策が取られていたか。		
	傷病者の受け入れにあたり、従事者の防護措置が適切に行われていたか。		
搬入口、廊下、処置室等をビニールシート等で養生する等の対策がとられていたか。			
処置室入室前のスクリーニング検査において放射性物質による汚染があると判明した場合、処置室の空調及び換気を止める措置が行われていたか。			
除染のために使用した洗浄水、ガーゼ、患者の衣服等は、ビニール袋に入れるなど適切に保管されていたか。			
自由記載			

平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
道路情報表示訓練	1 情報伝達		
	トラブル通報等の情報が、対策本部(広報班等)から道路企画課に適切に伝達されたか。		
	道路企画課から各道路情報板管理者(県警、国交省、県土事務所)に対して、広報内容が適切に伝達されたか。		
	事象の進展に応じた適切な体制が構築されたか。(広報班、道路企画課、県警、国交省、県土事務所)		
	2 情報収集		
	各道路情報板管理者の対応状況を適切に収集していたか。		
収集した情報は適切に整理されていたか。			
	その時の状況に応じて、優先順位を付け適切に情報収集しているか。		
自由記載			

平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練評価記録シート

評価員 \_\_\_\_\_

<平成26年10月18日(土)>

評価項目	評価の観点 (★昨年度の課題事項。◎新規追加項目)	チェック欄	コメント等
学校等の避難訓練	1 学校等への情報伝達(教育総務課)		
	トラブル通報等の情報が、適切に各学校や市教育委員会等の関係機関に連絡されていたか。		
	事象の進展に応じた適切な体制が構築されたか。		
	★電話、ファクシミリ以外の情報伝達手段が確保されているか。		
	2 情報収集(教育総務課)		
	情報はその時の状況に応じて、優先順位を付け適切に収集しているか。		
	各学校や市教育委員会の対応状況を確認するなどの方法により、関係先の対応状況を適切に収集していたか。		
	情報は適切に整理されていたか。		
	3 私立学校への情報伝達(教育・学術振興課)		
	トラブル通報等の情報が、適切に各学校等の関係機関に連絡されていたか。		
	事象の進展に応じた適切な体制が構築されたか。		
	★電話、ファクシミリ以外の情報伝達手段が確保されているか。		
4 情報収集(教育・学術振興課)			
各学校の対応状況を確認するなどの方法により、関係先の対応状況を適切に収集していたか。			
情報は適切に整理されていたか。			
情報はその時の状況に応じて、優先順位を付け適切に収集しているか。			
自由記載			